

令和2年度町政執行方針概要



町長 横山 茂

3月11日に開会された第1回議会定例会で、横山町長が令和2年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

沼田町第6次総合計画の重点戦略として「沼田町全力宣言！」を合言葉に、基幹産業である農業と、まちなにぎわいを創出する商業の様々な分野の取り組みを有機的に結びつける「魅力！活気！元気！持続可能プロジェクト」、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない地域独自の資源を「食」や「観光」と絡め発信する「オンラインワン！世界に発信プロジェクト」、キャリア教育の充実など子どもたちの生きる力を育む、教育環境づくりや子育て支援策

の充実を図り、子育て世代が住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを推進する「沼田で育って良かった！子ども応援プロジェクト」の3つの重点プロジェクトを掲げて取り組むこととし、加えて、人口減少が進むなか人口3000人を維持しておりますが、安定的な行政運営を維持するためには一定規模の人口維持が必要であり、将来的な移住に向けた視野を含め、継続的に多様な形で関わっていただく「関係人口拡大」に向けて緊急プロジェクトを発足し、提案する各種事業を有機的に結び付け「オールぬまた」で取り組んでまいります。

○子育て支援の充実

子ども・子育て支援法に基づく令和2年度を始期とする「第2期子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て会議委員の皆様のご協力のもと策定を進めており、この計画をもとに今後の子育て支援事業を推進してまいります。

また、本年度新たに、妊産婦及

び1歳未満の乳児を持つ保護者に対し、タクシー券を交付する「妊産婦等外出支援事業」を施行し、各種子育て支援事業への参加など保護者同士の交流を促すための外出支援に取り組んでまいります。

近年、子育てに手助けしてくれる人がいないなど、子育てに対する負担感を強く感じている家庭や、養育困難なケースが増えている状況から「沼田町ファミリーサポートセンター事業」の体制を整えることとし、所要額を予算計上いたしております。

また、近年、沼田認定こども園への2歳以下の乳幼児の入園希望が増加し、保育士不足が課題となっていることから、新たに「保育士就業支援助成事業」を施行し、保育士資格を取得し沼田認定こども園に就職される方に対し、就職支援金などを交付することとし、保育士確保による子育て環境の充実を図ります。

沼田町学童保育所につきましては、児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業の観点から昨年度から保健福祉課へ所管替えをしたところですが、学童保育所

でのプログラム化や支援員の研修機会を増やすなど学童保育事業の充実強化のため、専門知識や経験を有する民間企業から事業提案を受け、4月から業務委託することとして取り進めており、引き続き小学校及び保護者をはじめ地域の方々と連携した中で児童の健全育成に努めてまいります。



○農業の振興

水稻を中心とした営農体制維持には、畑作や高収益作物も含めた複合経営の推進が必要であり、農業所得の確保と農業経営の安定化を図るため、引き続き、農業所得向上対策事業、農地流動化支援事業、多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払制度などを継続実施してまいります。

農地流動化においては、農業委員会等関係団体の努力と、地域の受け皿となる担い手農業者の安定経営に向けた規模拡大意向に沿って順調に推移し、農地集積率は引き続き93%を超える水準を維持しており、今後も農地の流動化が円滑に進むために必要な農業生産法人の設立支援や新規就農者等担い手の確保対策に取り組んでまいります。

新農業対策室における重点課題については、町、JA、改良区、普及センター職員による企画班会議にプロジェクトを設け、スマート農業の実現、農産物のブランド化、担い手確保に向けた農業振興公社の設立、利雪農業の実現につ

いて検討を重ね、先ずは、農業関係者団体による沼田町スマート農業研究会の設立に至り、沼田町に相応しいスマート農業技術の選択に向けた実証試験に取り組み普及推進を図ってまいります。

更には、新時代の沼田農業スタイルの確立に向け、中山間地域におけるスマート農業の推進、担い手の確保に向けた農業振興公社の設立、農地流動化に向けたモデル事業の構築、労働力不足への対応（仮称）ぬまたアグリファーム準備室の開設等を積極的に推進してまいります。



令和2年度 町政執行方針概要

○商業の振興

商工業の経営安定化の維持等は商工業者自らの創意工夫が必要であることから、商工会が主体となつて策定する「商店街活性化計画」に係る研修や先進地視察に要する経費を「商工業活性化サポート事業」を活用することとして所要額を予算計上いたしております。

また、中小企業者に対する運転資金や設備資金の融資促進に向け昨年増額した、利子補給及び保証料補助を昨年同様に予算計上し、経営の安定維持及び商店街の活性化の促進を図るなど、商工業の振興に努めてまいります。

店舗維持と魅力ある商業環境を保持し、魅力ある住みやすいまちづくりを促進するために昨年施行した、「魅力アップ！ぬまた活性化支援事業」を引き続き実施し、店舗の新築、空き店舗などを活用した新たな商業活動及び起業化や商品開発など、自主的・持続可能なまちづくりへの取り組みを支援し商店街の活性化を図ってまいります。

○企業誘致の推進

働く場の創出は、町を持続する上で欠かせないことから、我が町独自の雪利用の強みなどを活かしつつ、道内外の企業に対し積極的かつきめ細やかな企業訪問活動を継続することとし、更に企業立地促進に向け新たに「サテライトオフィスの誘致促進事業」に係る予算及び、「町内既存施設等を活用した賃貸による工場等の新增設」に助成することとする沼田町企業立地促進条例の一部を改正する条例を提案いたしております。

○沼田町まるごと自然体験プロジェクト

平成30年度に実施した「幌新地区アドベンチャーの森可能性調査」において、沼田町には魅力ある自然、文化、歴史的資源が多数存在するが、個々に点在しており魅力が十分に発揮し切れていないとの町民意見が多く出されたところであり、令和元年度には、資源の掘り起こしの為、7回の体験プログラムを試行をメインに実施し、沼田町の資源の再確認をしたところとす。



本年度も地方創生推進交付金を活用したなかで、事業化に向けた実証に取り組みこととし、「オンラインワン！世界に発信プロジェクト」の中心施策として関係人口・交流人口の拡大を目指し、豊富な資源と多様な人材の組み合わせによる「稼ぐ地域」としての変化・発展を目指してまいります。

○移住定住の推進

人口動態については、平成29年、平成30年と2年続いて転入超過を達成いたしました。が、残念ながら3年連続での転入超過には至りませんでした。

しかしながら移住希望者のバイブルと言われる「田舎暮らしの本（宝島社）」では、「住みたい田舎ベストランキング」において移住相談における満足度やきめ細やかな子育て支援が評価され2年続けて北海道エリアで第1位になり、このことは小さなことから一つひとつ丁寧に積み重ねてきた結果と考えており、今後もこのランキングを移住相談会などでのPRに積極的に活用し、令和2年度に転入超過を復活できるよう、全町民の

協力のもと、総力をあげて取り組んでまいります。

移住定住に関する予算については、これまで実施してきた移住定住プランディング戦略事業や官学連携によるセルフリンベーション事業、UIJターン新規就業支援事業に加えて、「孫ターン奨励金事業」を新たに設けるとともに「沼田町ヤング世代移住促進家賃助成事業」の拡充など創意と工夫を凝らして積極的に移住定住対策を推進してまいります。

○JR留萌本線 応援事業

JR留萌本線利用促進のため観光協会と連携し、町内外向けイベントとして、各種ツアーや小中学生への利用助成、子育て応援列車等の事業を実施してまいります。

また、町と包括連携協定を締結している北海学園大学や住民を巻き込んだ活動として、駅構内及び周辺の環境整備やJR利用促進ワークショップを実施することで、地域鉄道の価値を再認識してもらい地域鉄道応援の輪（JRに乗り続

け隊）を広げてまいります。



○防災対策

近年、台風や地震などによる災害が全国的に発生していることから、継続的に防災セミナー・訓練を開催してまいりました。令和2年度は陸上自衛隊と連携した防災訓練に取り組むこととし、また防災備蓄品等の整備について引き続き実施するとともに、現在、各ご家庭にお配りしている「防災のしおり（ハザードマップ）」は平成29年度に作成したのですが、昨

年、沼田奔川が北海道の洪水浸水想定区域に指定されたことから、掲載内容を更新・充実することとし所要額を予算計上いたしております。

また、公用車・除雪機械搭載及び携帯無線機として使用しております移動系防災行政無線ですが、無線規格の改正により令和4年12月以降使用できなくなることから新規格対応機器への更新を計画するとともに、一昨年9月に発生した「胆振東部地震」の影響による広域停電の発生は本町においても町民生活に大きな影響を及ぼしたところであり、本年度においては「生涯学習総合センターゆめつくる」へ非常用発電機を設置するための所要額を予算計上いたしております。

結びに

加速化することが予想されます人口減少と少子化・高齢化・長寿化にともなう人口構造の変化はより一層進むものと思われませんが、町の将来を見据え、人口減少を和らげ人口3000人を維持するた

め、KEEP The 3000! 「関係人口Up!大作戦」を緊急スローガンとし、様々な分野で関係人口の拡大を目指し、移住定住の推進と結婚・出産・子育ての希望をかなえ、生活・教育面の充実を図るとともに、歴史や文化、豊かな自然と地域の多様な資源を活かした確かな取り組みによる「沼田町を元気にする戦略」と、人生100年時代を迎え健康で元気に「高齢者の活躍していただく場の創出」、農業・商工業など地域の特色を活かした「稼ぐ力の維持・拡大」を進め、沼田町の持続的発展を目指し、「新たな視点」と「新たな創造」をもったなかで、挑戦し続ける地域づくりを進めるため、引き続き町民皆様の声を聴かせていただき、議論を深め、地方創生の最前線で職員と情報を共有し、町民皆様と「オールぬまた」で邁進してまいりますので、町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。令和2年度の町政執行方針といたします。